

西海ブロック推進会議漁業資源・海洋環境部会報告書

会議責任者	西海区水産研究所長
-------	-----------

1 開催日時及び場所 日時 平成 21 年 11 月 11 日 (木) 13:30~16:50
場所 西海区水産研究所 大会議室

2 出席者所属機関及び人数 11 機関 28 名

3 結果の概要

議 題	結果の概要
1. 開 会	西海区水産研究所東シナ海海洋環境部長が開会を宣言。
2. 挨 拶	西海区水産研究所所長から最近の情勢および部会の趣旨などについて説明された。
3. 座長の選出	西海区水産研究所東シナ海漁業資源部長を座長に選出した。
4. 協議事項	
1) 試験研究の実施 状況に関すること	各県および西海区水産研究所の研究課題を一覧表として提示するとともに、本年度開始課題、重点課題についてそれぞれ説明を行い意見交換した。
2) 試験研究の成果 に関すること	<p>漁業資源分野の成果が 3 件、海洋環境分野の成果が 1 件提出され、議論を行った。その結果下記の通りとなった。</p> <p>ア) 山口県日本海域におけるアカアマダイの資源管理 (予報) (山口県水産研究センター) は本文に微修正を加えることとして部会として承認した。</p> <p>イ) 佐賀県玄海地区から放流したトラフグ種苗の放流効果 (佐賀県玄海水産振興センター) は地域増養殖部会で検討済みのため、審議は割愛した。</p> <p>ウ) 大陸棚-黒潮系水域生態系におけるマイクロネクトンの役割の解明 (西海区水産研究所) は図と本文に微修正を加えることとして部会として承認した。</p> <p>エ) 有明海における大型クラゲ分布調査 (西海区水産研究所) については図と表に微修正を加えることとして部会として承認した。</p>

<p>3) 試験研究のニーズと具体的な取り組みに関すること</p>	<p>19年度に提出された研究開発ニーズ「温暖化に伴う主要魚種の漁獲量の変化予測に関する研究」について昨年度の対応状況が説明され、協議の結果昨年度の対応をもって取り組みを終了することを確認した。なお、20度におけるニーズは提出がなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年に日本海で急増したサワラについて、日本海区水研の研究の展開状況を紹介した。
<p>4) その他必要と認められる事項に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長期漁況海況予報会議における調査研究報告のあり方について議論を継続することとした。
<p>5. その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度水産庁予算を巡る情勢を説明した。 ・来年4月に仙台で開催される予定の地球温暖化の影響シンポジウムの概要を報告した。 ・大型クラゲの本年における出現状況を説明した。 ・水研センター依頼研究員制度を説明した。